

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 火 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語Ⅲ FrenchⅢ		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2M12 + 2D16・17	科目分類 外国語科目(フランス語)		
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー/ 担当教員: ヤマック・ヤクザン・パスカル/ Eメールアドレス: <a href="mailto:pyamak@ngsl.cncm.ne.jp">pyamak@ngsl.cncm.ne.jp</a> / 研究室: 非常勤講師控室/TEL: /オフィスアワー: (火) 14:20~30、16:00~16:15			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 仏語の聴解力及び会話力の基礎を築くとともに、外国語学習の基本的な戦略を養成します。</p> <p>授業方法: 単語を「機械的」に組み立てて文を構築するような必要な段階を踏まえた上、単語・文・コミュニケーションの状況といった自然言語の三要素の相互関係を十分に考慮しながら、言葉を中心とするコミュニケーションのシミュレーションゲームを行います。ただし 毎回、授業を一步進める前に、既習の形式(単語、文型など)の中から、いくつかのものを選び、復習の対象にします。</p> <p>なお、学習過程を促進する方法として、具体例を通して仏語と日本語/英語の比較対照をもとにそれぞれの言葉の独自性を紹介します。</p> <p>授業目標: 半年の学習で「フランス語検定試験(仏検)」4級に合格できるレベルに到達することを目標とします。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>「挨拶する」、「紹介する」、「尋ねる」といった実際の中で経験するコミュニケーション力を実践し、フランス旅行、フランス人との出会いなどに不可欠なフランス語を身に付けて、聞く、話す、読む、書くという生きた知識としての総合的な運用能力を学習します。</p> <p>第1回 名詞及び形容詞の性と数、不定冠詞と定冠詞、être の直説法現在形</p> <p>第2回 第1群規則動詞の直説法現在形、avoir の直説法現在形、否定文</p> <p>第3回 疑問文、前置詞 à、de と定冠詞 le、les の縮約、人称代名詞強勢形</p> <p>第4回 不規則動詞の aller, venir の直説法現在形、近接未来、近接過去</p> <p>第5回 動詞の命令法、所有形容詞、形容詞の前の不定冠詞複数形 n</p> <p>第6回 第2群規則動詞の直説法現在形、不規則動詞 vouloir、pouvoir、faire</p> <p>第7回 prendre の直説法現在形、部分冠詞(1)</p> <p>第8回 部分冠詞(2)、非人称構文、疑問形容詞 quel、疑問代名詞</p> <p>第9回 不規則動詞 descendre、connaître の直説法現在形、主語代名詞 on</p> <p>第10回 比較級、最上級、比較級と最上級の特殊形</p> <p>第11回 関係代名詞 qui、que、強調構文 c'est ...qui/que</p> <p>第12回 不規則動詞 lire、voir、croire の直説法現在形、直説法複合過去形(1)</p> <p>第13回 直説法複合過去形(2)</p> <p>第14回 人称代名詞の直接目的語形</p> <p>第15回 まとめ</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Bonjour、Paris」(白水社)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業参加状況 20%等を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業中いつでも質問を受け付けます。君(あなた)が疑問に思うことは大概他の人も「あれっ?」と思う箇所ですから、質問は授業を深める大事な要素です。恥ずかしがらずに、そして面倒くさがらずにどんどん質問してください。		